

## 平成23年度 社会福祉法人 伊東市社会福祉協議会 事業報告

本年度、地域住民・関係諸団体並びに行政の理解と協力により住民参加を基軸とする事業を実施し、地域福祉の推進を図るために以下の諸事業に取り組みました。

### 1 法人運営事業

#### (1) 社会福祉協議会の組織及び財政基盤の強化

組織の充実並びに経営基盤の確立は、長年かつ喫緊の課題であり、自主財源確保のための会員増強に努めたが年々減少している。

- ・ 普通会員(社会福祉事業資金) 18,353 世帯
- ・ 賛助会員 929 篤志家・事業所
- ・ 特別賛助会員 12 会社・組合の寮保養所、42単位老人クラブ
- ・ 施設会員 16 施設(市内社会福祉施設)

#### (2) 理事会・評議員会の開催

##### ① 理事会の開催

年 月 日	審 議 案 件
平成23年 5月23日 (出席者 11名)	事務局職員給与の改正規程の専決処分の報告承認、平成22年度 事業報告並びに各会計決算の認定、理事の選任、常務理事の報酬等に関する規程の一部改正について、第35回伊東市社会福祉大会の開催、東日本大震災への支援について
平成23年 8月26日 (出席者 11名)	定款細則の制定について、理事監事選任規程・評議員選任規程の改正について平成23年度一般会計補正の認定、運営資金の短期借入について、第30回ふれあい広場の実施について、会費の実績報告・職員募集、地域包括支援センターの移転について
平成23年11月25日 (出席者 11名)	定款の一部改正について、職員の職務の級別基準及び初任給等に関する規程の一部改正について、月額職員の給与に関する規程の一部改正について、平成23年度一般会計補正、職員採用試験募集について、介護予防拠点施設指定管理者募集の応募について
平成24年 3月27日 (出席者 11名)	事務局職員給与・月額職員の給与の改正規程の専決処分の報告承認、平成23年度一般会計補正の専決処分の報告承認、定款改正について、就業規則・月額職員の就業規則に関する規則の一部改正について、事務局職員給与・月額職員の給与の一部改正について、平成23年度一般会計補正・収益事業特別会計補正の認定、平成24年度事業計画並びに一般会計収益事業・特別会計予算の認定について、副会長の選出について、事務局長の任命について、平成24年度地域包括センターの運営について

② 評議員会の開催

年 月 日	審 議 案 件
平成23年 5月23日 (出席者 26名)	事務局職員給与の改正規程の専決処分の報告承認、平成22年度 事業報告並びに各会計決算の認定、理事の選任、常務理事の報酬等に関する規程の一部改正について、第35回伊東市社会福祉大会の開催、東日本大震災への支援について
平成23年 8月26日 (出席者 31名)	定款細則の制定について、理事監事選任規程・評議員選任規程の改正について平成23年度一般会計補正・収益事業特別会計補正の認定、運営資金の短期借入について、第30回ふれあい広場の実施について、会費の実績報告・職員募
平成23年11月25日 (出席者 26名)	定款の一部改正について、職員の職務の級別基準及び初任給等に関する規程の一部改正について、月額職員の給与に関する規程の一部改正について、平成23年度一般会計補正、職員採用試験募集について、介護予防拠点施設指定管理者募集の応募について
平成24年 3月27日 (出席者 25名)	事務局職員給与・月額職員の給与の改正規程の専決処分の報告承認、平成23年度一般会計補正の専決処分の報告承認、定款改正について、就業規則・月額職員の就業規則に関する規則の一部改正について、事務局職員給与・月額職員の給与の一部改正について、平成23年度一般会計補正・収益事業特別会計補正の認定、平成24年度事業計画並びに一般会計収益事業・特別会計予算の認定について、平成24年度地域包括センターの運営について、副会長の選出について、事務局長の任命について

(3) 善意銀行の運営

市民からの貴重な寄附金品を福祉事業の財源又は施設、要援護者の支援に活用、寄附は次のとおりであった。

① 寄付金の受け入れ

寄付件数	寄 付 総 額
70件	2,359,935 円

② 物品の受け入れ

寄付件数	寄 付 物 品
17件	椿20本、車椅子2台、ふとん2組、ヤクルト 6,995本、納豆 1,145食、缶詰72個、果物、遺失物取得品17点、雑巾多数

(4) 静岡県健康福祉大会への参加

平成23年10月20日(木)、静岡県コンベンションアーツセンター・グランシップにおいて、静岡県知事を大会会長に健康福祉県づくりの実現に向け、社会福祉並びに健康増進活動に功績のあった個人・団体として、本市より県社協会長表彰6名(民生児童委員1名、保護司1名、施設職員3名、社協1名)が表彰され、関係者を含め10名が参加した。

(5) 広 報 活 動

①社協だよりの発行

地域福祉の推進並びに本会の活動の理解を広めることを目的に年4回(9月、10月、12月、3月)“社協だより”を全戸配布(29,900戸)し、広報啓発を図った。

②ホームページによる情報提供

情報化社会に対応し、迅速により多くの情報提供を行うためにインターネットを利用したホームページによる情報提供を行った。

(6) 関係諸会議及び研修会への参加

職員の資質向上並びに人材育成のために以下の会議・研修に職員を派遣した。

- ①会長・事務局長関係会議・研修 3日 延べ 3名  
(市町社協トップセミナー、県市町社協事務局長会議、市部社協事務局長会議等)
- ②事務局職員関係会議・研修 33日 延べ37名  
(生活福祉資金貸付事業会議、市町社協福祉教育担当者会議、地域福祉を考えるブロック会議  
災害ボランティア運営会議、共同募金事務担当者会議、災害支援のあり方検討会等)
- ③介護保険事業関係職員会議・研修 29日 延べ32名  
(県ヘルパー連絡協議会研修会、主任介護支援専門員研修、介護支援専門員更新研修、介護保  
険事業者集団指導、障害者自立支援法事業者説明会、ケースカンファレンス等)
- ④地域包括支援センター職員会議・研修 10日 延べ13名  
(見守り家族制度専門家セミナー、介護予防ケアマネジメント研修、ケースカンファレンス等)
- ⑤その他 1日 延べ 1名  
(新任民生児童委員協議会研修会)

計 76日 延べ86名

## 2 地域福祉推進事業

ボランティアを必要とする個人・団体・施設等の相談に応じ、ボランティアの需給調整を行うとともにボランティアの育成、地域のニーズ把握に努め、ボランティア活動の推進を図った。

(1) ボランティアニーズの需給調整

相談件数	登 録			幹 旋			
	新規登録	既 登 録	合 計	施設向け	在宅向け	その他 向け	合 計
67件	131人	1,498人	1,629人	123人	68人	123人	314人

(2) ボランティア講習会・研修会の実施

①傾聴ボランティア研修会

高齢者、障害者等が地域から孤立しないように話しを聞く傾聴ボランティアの育成を目的に活動上の課題、意見交換、スキルアップの研修会を開催した。

開 催 日・場 所	研修会名	内 容	参加人員
6月30日(木)・老人福祉センター	事例検討会	事例検討、研修会	21名
11月29日(火)・老人福祉センター	事例検討会	事例検討、研修会	17名

・傾聴ボランティア活動実績

活 動 区 分	傾聴対象	活動人員	活動延日数
市立養護老人ホーム 「平和の杜」	6名	5名	51日
特別養護老人ホーム 「奥野苑」	4名	4名	45日
特別養護老人ホーム 「いこいの園」	5名	5名	40日
特別養護老人ホーム 「うさみの園」	1名	1名	8日
特別養護老人ホーム 「十字の園」	不特定	2名	12日
身体障害者療護施設 「伊東の丘」	1名	1名	12日
小規模多機能ホーム 「クラシオン富士見」	不特定	2名	10日
在 宅 高 齢 者	4名	5名	42日
サロン教室、高齢者交流事業	不特定	2名	16日
計	21名	27名	236日

## ②学生ボランティアグループへの支援事業

高校生ボランティアグループの運営への支援とボランティアニーズの調整を行った。

活動日・活動場所	事業名	活動内容	活動人数
9月18日(日) 市観光会館 別館	ふれあい広場 (社協主催)	東日本大震災被災地特産品の販売	7名

## ③ボランティア養成講座“ボランティアキャンプ”

市内中高校生等を対象に東日本大震災被災地である岩手県大船渡市を訪問し、災害ボランティア活動及び被災地の中高校生と両市花木である椿の植樹を通して交流を図った。

- ・開催日時 平成23年8月18日(金)～8月21日(月)
- ・開催場所 岩手県大船渡市、山田町
- ・参加者 学生7名、社協職員4名、運転士2名

## (3) ボランティアビューロー(ボランティアグループ連絡会)の開催

ボランティアグループ13団体(会員で構成する協会がボランティア活動の活性化のため、ボランティア相互の交流と情報交換を行った。

- ・定例会の開催 12回
- ・グループ会議 12回
- ・その他 10回

## (4) 災害ボランティアネットワーク事業

### ①東日本大震災復興支援ボランティア

市民へ災害復興支援活動のボランティアを募集し、3泊4日(車中2泊)の日程で被災地での活動を行った。

- ・実施回数 3回(平成23年6月10日(金)～6月13日(月)、7月8日(金)～7月11日(日)  
7月29日(金)～8月1日(月))
- ・支援活動先 岩手県陸前高田市、大槌町、大船渡市
- ・出席者 42名(市社協、災害ボランティア)

### ②災害復興への支援

災害復興の支援金・支援物資の贈呈と被災地の復興状況について、現地3市町の社協で研修。

- ・開催日 平成24年3月23日(金)～3月26日(月)
- ・支援先 岩手県大船渡市、宮古市、山田町
- ・出席者 11名(社協職員2名、市民7名、運転士2名)

### ③災害ボランティアセンター運営支援者養成講座

運営スタッフの養成を目的に講演並びに地図を用いて、大規模災害における危険を予測し、避難経路等防災対策を検討する災害図上訓練(DIG訓練)を実施した。

- 開催日 平成24年2月4日(土)・5日(日)
- 開催場所 伊東市保健福祉センター
- 講師 防災士・災害ボランティア伊東 森田文明氏
- 出席者 18名

#### ④災害支援活動あり方検討会

県社協が開催する災害支援活動の検討会へ職員（1名）の派遣した。

実施日 7回（平成23年7月7日、8月25日、9月26日、11月17日、12月21日  
平成24年2月16日、3月7日）

開催場所 静岡県総合福祉会館 参加者 15名（県社協4名、市町社協11名）

#### (5) ボランティア保険の加入促進

ボランティアが安心して活動に取り組めるように活動中の事故に備えて、保険加入の受付を行った。

・保険加入者数 57団体 869人 ・ボランティア行事用保険 23件 4,210人

#### (6) 福祉教育資材の整備並びに貸出と情報提供

福祉教育や研修会を行う際に福祉機器、資料、講師の紹介等情報提供を行った。

・ビデオ・図書の貸出 1件 ・福祉機器の貸出 5件 ・講師の紹介 1件  
・福祉の情報提供 2件 ・福祉体験学習の指導 7件

#### (7) 第30回ふれあい広場の開催

障がい者、子どもから高齢者まで地域で暮らす人々の交流を図り、福祉関係団体、福祉施設、ボランティアによる作品展示、模擬店等を通じて、福祉への理解と関心を深めた。

・開催日 平成23年9月18日(日) ・会場 伊東市観光会館別館 ・参加者 3,000人

#### (8) 第35回伊東市社会福祉大会の開催

福祉関係者や市民を対象として、社会福祉に功労者等への表彰や記念講演を開催し、福祉意識の向上を図った。

・開催日 平成23年6月25日(土) ・会場 市役所8階大会議室 ・参加者 300人  
・講演 「東日本大震災における支援業務と被害状況について」  
講師) 伊東市役所 生活防災課 主査 鈴木淑夫 氏

#### (9) 災害被災地社協への職員の派遣

東日本大震災被災地社協へ県社協から要請により被災地社協への職員の派遣を行った。

・派遣日 平成23年4月17日(日)～23日(土)、4月22日(金)～29日(金)  
・派遣職員数 2名 ・派遣先 岩手県宮古市、山田町

### 3 在宅福祉推進事業

#### (1) ひとり暮らし高齢者ふれあい楽しみ会の実施

閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者を対象に地区別6回に252人を市内景勝地(さくらの里)において、ウォーキングやレクリエーションを通して、介護予防並びに参加者相互の交流を通して、孤独感の解消を図った。

(2) ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク事業

市内モデル地区（湯川・松原・玖須美・岡・鎌田）において、ひとり暮らし高齢者等を対象に地域での孤立しないよう月に1回以上の自宅を訪問し、安否確認を実施した。

見守り世帯数	見守り活動協力者	延べ訪問回数
7世帯	24名	120回

(3) 総合相談及び心配ごと相談所の運営

①心配ごと相談（毎週水曜日午後1時30分～4時・伊東市保健福祉センター）

相談事項 処理状況	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健	医療	人権・法律	財産	事故	子育て・児童福祉	教育青少年	心身障害者福祉	子育て・好福祉	老人福祉	苦情	D V	その他	合計
所内解決	3	0	0	1	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	5	19
他機関紹介	2	0	0	0	6	0	5	0	1	4	0	0	0	0	1	0	1	0	9	2	31
合計	5	0	0	1	10	0	7	0	1	4	0	0	0	0	5	0	1	0	9	7	50

②総合相談（毎週月曜日～金曜日 祝祭日を除く）

相談事項 処理状況	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健	医療	人権・法律	財産	事故	子育て・児童福祉	教育青少年	心身障害者福祉	子育て・好福祉	老人福祉	苦情	D V	その他	合計
所内解決	265	26	33	10	7	0	0	0	30	2	9	0	0	7	4	1	89	0	0	93	576
他機関紹介	8	2	0	0	3	0	0	2	7	105	5	0	3	2	2	4	4	0	0	56	203
合計	273	28	33	10	10	0	0	2	37	107	14	0	3	9	6	5	93	0	0	149	779

(4) 無料法律相談

静岡県沼津弁護士会の協力により無料弁護士相談を毎月第2・第4火曜日保健福祉センターにて実施した。

実施日数 21日（中止3日：申込状況による） 相談件数 110件

## 4 受託事業

(1) 保健福祉センター（老人福祉施設）の受託運営

① 利用者数 16,385名

内訳：老人 6,952名、各種相談 1,533名、市関係 6,792名、福祉団体 1,108名

② 開館日数 244日

③ 一日平均利用者数 67.2人

(2) 介護予防拠点施設シニアプラザ桜木・湯川・くすみの受託運営

市内3カ所の高齢者の生きがい活動や健康増進などの介護予防施設を拠点に仲間づくりを通して、生活の活性化を目的に施設の管理運営を行った。

- ① 延 開 館 日 数     7 3 4 日 (湯川 244日、桜木 245日、くすみ 245日)
- ② 平均開館日数     2 4 4 . 7 日
- ③ 延 利 用 人 員     1 8 , 6 6 2 人 (湯川 3,638人、桜木 9,241人、くすみ 5,783人)
- ④ 平均利用人員     6 , 2 2 0 . 7 人
- ⑤ 実 施 内 容     折り紙教室、カラオケ教室、映画観賞会、ウォーキング教室、料理教室、童謡唱歌、書道教室、絵手紙教室、介護予防教室

(3) 介護予防普及啓発事業

65歳以上の方を対象に日常運動習慣がなく、体力や筋力低下を防ぐために介護予防と生活機能の向上を目的に体操教室を開催した。

教室数	開催場所	回 数	参加者数	延べ参加者数
5 教室	保健センター、八幡野コミセン、宇佐美コミセン、小室コミセン、鎌田温泉会館	100回	236人	2,361人

5 地域包括支援センターの受託運営

保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員の5名が専門性を活かしながら、高齢者への総合的な支援として、地域の医療・保健福祉サービス関係機関・団体と協働し、地域包括ケアの推進を図った。

(1) 総合相談支援・権利擁護(虐待の防止)

高齢者のニーズを把握し、総合的な相談・支援を行った。また、高齢者の人権や財産を守る権利擁護を目的とした機関やサービスと連携し、高齢者の虐待防止や権利擁護に努めた。

相談方法	来 所	電話・FAX等	訪 問	その他	合 計
相談件数	204人	906人	1,491人	261人	2,862人

相 談 内 容	相談件数	相 談 内 容	相談件数	
制度利用の申請代行	216	医療に関する相談	275	
保健・福祉に関する相談	92	住宅改修に関する相談	47	
介護保険に関する相談	544	福祉用具に関する相談	91	
介護予防に関する相談	130	権利擁護成年後見制度に関する相談	8	
認知症高齢者に関する相談	55	虐待に関する相談	8	
在宅介護に関する相談	126	その他の相談 (家族や経済問題など)	89	
施設入所に関する相談	85			
合		計		1,766

## (2) 共通的支援の基盤構築

地域に総合的なサービスネットワークの構築のため、関係機関・団体との調整を図った。

運 営 状 況	回数	運 営 状 況	回数
地域ケア会議	1	関係団体との会議（民生児童委員）	5
包括会議	5	相談協力員	0
包括部会（三職種）	10	研修会	6
その他	7		

## (3) 包括的・継続的マネジメント支援

高齢者に継続的なサービスが提供されるよう地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制の構築を支援した。

- ・ケアマネジメントへの支援 107回

## (4) 介護予防マネジメント

要介護認定の要支援1、2に該当する高齢者（予防給付）、特定高齢者（介護予防事業）に対し、介護予防サービス計画を作成するとともに計画に基づくサービスの提供が確保されるよう、関係機関と連絡調整を行った。

- ・新予防給付ケアプラン作成状況  
作成件数 400件（直営 209件、委託 191件）  
年間延作成件数 3,305件（直営 1,447件、委託 1,858件）
- ・特定高齢者介護予防プラン作成状況  
作成件数 40件

## (5) そ の 他

- ・介護予防教室（よろずサロン）

高齢者の生活機能の低下の予防を目的に体操や講話、レクリエーション等の介護予防事業を開催した。

- 開催日 16日 参加者 148名
- 開催場所 シニアプラザ桜木・湯川・くすみ、鎌田会館、玖須美温泉会館

## 6 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

[県社協委託事業]

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者の中で判断能力が不十分な方の権利擁護を目的として、地域で自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等を支援し、当市及び熱海市をエリアとする基幹型社会福祉協議会として、次のように事業を実施した。

### (1) 会議及び研修

- ① 基幹型社会福祉協議会専門員会議（県社協主催）への出席
  - ・場所 静岡県総合社会福祉会館 ・日時 平成23年 5月20日

② 専門員研修会

・場所 静岡県男女共同参画センターあざれあ ・日時 平成23年10月31日

③専門員実務研修会

・場所 静岡県男女共同参画センターあざれあ ・日時 平成24年1月20日

(2) 相 談 件 数 280件

内訳：認知症高齢者 126件、知的障がい者 71件、精神障がい者 41件、身体障がい者 42件

(3) 訪問・調査件数 252件 内訳：伊東地区 156回、熱海地区 96回

(4) 契約締結件数 5件 内訳：伊東地区 3件、熱海地区 2件

(5) 生活支援員数 12名 内訳：伊東市 7名、熱海市 5名

## 7 共同募金事業

(1) 静岡県共同募金会 伊東市共同募金委員会の開催

年 月 日	審 議 案 件
平成23年 5月23日	平成22年度事業報告並びに寄付金会計・事務費会計決算、平成23年度県共同募金会並びに伊東市支会児童公園遊び場助成申請状況
平成23年 8月26日	平成23年度共同募金(赤い羽根)実施計画について、会則・会計規則の改正について
平成23年11月25日	平成23年度共同募金(赤い羽根)の結果報告、平成23年度歳末たすけあい運動の実施・配分基準並びに配分総額について
平成24年1月24日	平成23年度歳末たすけあい運動募金の結果報告
平成24年3月27日	平成23年度寄付金会計・事務費会計補正予算、平成24年度事業計画並びに寄付金会計、事務費会計予算について、副支会長の選出

(2) 共同募金（赤い羽根）運動

①募金目標額と実績額

区長、民生児童委員、町内会長・会計、女性連盟、ボーイスカウト、ガールスカウトの協力により各世帯や会社、商店、篤志家、団体等市民から寄せられた募金。

(単位 円)

県 目 標 額 (広域目標額)	市 目 標 額 (地域目標額)	区 分 別 実 績 額				合 計
		個 別	大 口	街 頭	窓 口	
3,090,000	7,200,000	4,536,085	1,927,338	267,327	615,923	7,346,673

②県共同募金会から本市共同募金会に交付される配分金額（平成22年度実績による平成23年度配分）

配 分 先	金 額	摘 要
本市社会福祉協議会	4,111,888円	平成24年度地域福祉活動事業助成金
事 務 費	311,800円	赤い羽根事務費211,800円、歳末たすけあい100,000円
合 計	4,423,688円	

(3) 歳末たすけあい運動

① 募金実績額

目標額	区分別実績額			合計
	大口	街頭	窓口	
3,500,000円	1,300,000円	756,292円	1,215,961円	3,272,253円

② 配分内容

配分対象	配分金額	摘要
準要保護世帯	1,714,000円	準要保護100世帯258人、準要保護新入学児童13人
在宅障害者	567,000円	特別障害者手当受給者 63人、精神障害者18人
在宅障害児	84,000円	障害児福祉手当受給者 12人
交通遺児	70,000円	交通遺児 7人
市内福祉施設	20,000円	無認可 1施設
在宅ねたきり老人	483,000円	在宅ねたきり老人 69人
配分経費	52,416円	通信運搬費、消耗品
平成24年度事務費	100,000円	
合計	3,090,416円	

※募金実績額と配分総額（次年度運動準備金並びに配分諸経費を含む。）の収支差引残額は181,837円は、次年度の共同募金配分金として事業費に充当されます。

(4) 老人福祉活動事業

① 老人クラブ連合会助成事業

老人クラブ連合会の運営と事業を補助することにより高齢者の生きがいの創出並びに老人クラブ連合会活動のために助成を行った。(3件 356,000円)

- ・老人クラブ連合会運営費及び事業費補助
- ・老人クラブ連合会演芸大会
- ・ゲートボール大会

(5) 障害児・者福祉活動事業

- ・心身障害児者を守る会クリスマス会への助成
- ・心象めぐみ会（精神障がい者）授産施設運営費への助成
- ・市内特殊学校ともだち運動会（知的障がい者）への助成

(6) 児童・青少年福祉活動事業

① 児童健全育成費助成事業

児童の健全な育成のために活動する15区の子ども会育成連絡協議会に対し、総額843,890円の助成を行った。

② ボーイスカウト助成事業

(7) 福祉団体育成・生活支援事業（低所得者世帯援護事業）

① 福祉団体助成事業

地域福祉活動のする関係諸団体・ボランティアグループに対し、助成を行った。

・配分対象 12団体 配分額 1,017,000円

② 災害見舞金支給事業

風水害、火災等により被災された世帯に対して見舞金を支給した。

・支給件数 9件 ・支給総額 110,000円

[全焼(20,000円) 3件、半焼(10,000円) 3件、一部焼(5,000円) 2件、半壊(10,000円) 1件]

③緊急食糧配布事業

経済的困窮者に対し、負担金（後納）1,000円により2日分の食糧配布を行った。

・利用者 12人 ・延利用回数 18回

## 8 貸付金事業

(1) 応急貸付資金貸付事業

低所得者世帯に対し、無利子で生活費（原則3万円）を貸し付け、経済的支援を行った。

本年度貸付件数・貸付金額	回収金額			未回収金額	欠損処分額
	現年度分	過年度分	計		
51件 1,435,000円	61回	856,000円	579,000円	0円	
	45回	357,000円	6,985,420円	0円	
	106回	1,213,000円	7,564,420円	0円	

※償還回数は、1件の貸付に対し、最長5カ月以内での償還であることから償還回数が上回る。

(2) 高額療養費資金貸付事業

医療費の支払いに困窮する国保の被保険者に対し、無利子で資金を貸し付け生活の安定を支援した。

本年度貸付件数・貸付金額	回収金額			未回収金額	欠損処分額
	現年度分	過年度分	計		
29件 4,750,000円	18回	3,103,000円	1,647,000円	0円	
	4回	408,000円	475,625円	0円	
	22回	3,511,000円	2,122,625円	0円	

(3) 生活福祉資金貸付事業

[県社協委託]

本貸付制度は県社会福祉協議会が実施主体として、市社会福祉協議会が窓口となって、離職者、低所得者世帯や高齢者世帯、障がい者世帯に対し、それぞれの世帯に応じた資金の貸付を行った。

種 別		件数	貸 付 金 額	対象者	貸付の内容
総合支援 資 金	生活支援資金	33件	10,220,000円	離職者	生活再建のための生活費
	住宅入居費	10件	1,775,383円		住宅賃貸契約の費用
	一時生活再建費	10件	1,195,000円		公共料金、転居費用等
福祉資金	福祉資金	15件	15,281,000円	低所得者 障害者世帯 高齢者世帯	生業を営む資金、技能取得 介護サービス費用、転居費 用、住宅改修費用等
	緊急小口資金	47件	3,896,000円		一時的な生活費
教育支援 資 金	教育支援費	2件	660,000円		就学に必要な経費
	就学支度金	1件	206,000円		入学に際し、必要な経費
不動産担保 型生活資金		0件	0円	不動産を担保に老後の生活 資金の貸付	
計		118件	33,233,383円		

※貸付利子：連帯保証人がある場合及び緊急小口、教育資金は無利子、連帯保証人がない場合は  
年利1.5%。不動産担保については年利3%又は4/1現在長期プライムレート金利。

#### (4) 臨時特例つなぎ資金（平成24年度末まで延長）

公的給付制度又は公的貸付制度の開始までの生活に困窮する離職者で住居を喪失していることを  
条件に無利子で一時的な生活費（10万円以内）の貸付を行い、離職者の支援を行った。

件数	貸付金額	対 象 者	貸 付 の 内 容
10件	811,000円	住居損失の離職者	公的給付金又は公的貸付金の交付を受けるまでの生活費

#### (5) 生活復興支援資金（東日本大震災被災者への貸付）

①生活再建費 件数 1件 貸付金額 673,000円

②一時生活支援費 件数 1件 貸付金額 900,000円

## 9 指定訪問介護事業

要支援・要介護者へ身体介護・生活援助のサービス提供を行った。

① 配置職員数 常勤1名・非常勤16名（月額3名、非常勤13名）

② 年間延利用者数 536人（前年比 12人減）

③ 1ヵ月あたり利用者数 44.7人（前年比 0.9人減）

④ 年間サービス提 6,313.5時間（前年比 449時間増）

内訳	区 分	身体介護	身体生活	生活援助	予防介護
	時間数	1,344時間	1,999時間	1,624.5時間	1,346時間
	構成比	21.3%	31.7%	25.7%	21.3%

⑤1ヵ月あたりサービス提供時間数 526.1時間数（前年比 37.4時間増）

## 10 居宅介護支援事業

介護保険における要介護認定者に対し、個々の解決すべき課題とその心身の状態に応じて、サービス計画の作成、サービス事業との連絡調整等、適切にサービスが提供されるよう総合的な支援を行った。

① 職員配置数 4名 (常勤4名)

② 年間延作成数 1,136プラン (前年比 37プラン増)

内訳	要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	作成数	364	367	204	106	95
	構成比	32.0%	32.3%	18.0%	9.4%	8.3%

③ 1か月あたり作成数 94.6人 (前年比 3.1人増)

④ 介護予防プランの受託 (地域包括支援センターからの受託事業)

介護保険における予防給付の対象となる要支援者に対し、介護予防サービス計画を作成し、サービスの需給調整を行った。

介護予防プラン年間延作成数 216プラン (前年比 45人減)

## 11 指定訪問入浴事業

(1) 指定訪問入浴事業の運営

要介護者の自宅において、移動入浴車 (3台) による入浴サービスの提供を行った。

① 配置職員数 常勤1名・非常勤13名 (看護師6名、入浴介助員7名)

② 年間延利用者数 452人 (前年比 91人減)

③ 1か月あたり利用者数 37.7人 (前年比 7.5人減)

④ 年間実施回数 2,194回 (前年比 443回減)

⑤ 1か月あたり実施回数 183回 (前年比 36回減)

(2) 障害者訪問入浴事業の受託

行政の委託により在宅重度障害者への移動入浴サービスを実施した。

年間派遣 実人員	年間派遣 延世帯数	年間延 実施回数	1ヶ月平均 実施回数
3名	21世帯	220回	18.3回

## 12 福祉用具貸与事業

(1) 指定福祉用具貸与事業の運営

要支援・要介護者へ自立した日常生活と介護負担の軽減を図るために福祉用具の貸与を行った。

① 職員配置数 4名 (兼務)

② 年間延利用者数 598人 (前年比 48人減)

③ 1ヵ月あたり利用者数 49.8人 (前年比 4人減)

④ 年間貸与品目数 2,393品目 (前年比 432品目減)

内訳	品名	車椅子	特種寝台	エアーマット	その他
	数量	301	1,586	168	338

⑤ 1ヵ月あたり貸与品数 199.4品目 (前年比 36品目減)

(2) 身体障害者福祉用具貸与事業の運営

介護保険非該当の高齢者並びに在宅障害者に対し、福祉用具の貸与を実施した。

車椅子	ポータブルトイレ	歩行補助具	その他の福祉用具
44件	3件	1件	1件

### 1.3 障害福祉サービス

日常生活を営むのに援助が必要な身体障害者及び知的障害者・児童、精神障害者へホームヘルプサービス事業を実施した。

(1) 居宅介護事業

① 実利用人員 19人

② 年間延利用人数 202人 (1ヵ月あたり利用人員 16.8人)

③ 年間サービス 2,798時間 (1ヵ月あたり提供時間数 233.1時間)

提供時間数	内訳	身体介護	家事援助	通院介護
		1100.5時間	1,663.5時	34.0時間

(2) 移動支援事業 (地域支援事業：障害者自立支援法による市単独事業)

① 実利用人員 2人

② 年間延利用人員 24人 (1ヵ月あたり利用人員 2.0人)

③ 年間サービス 396.5時間 (1ヵ月あたり提供時間数 33.0時間)

提供時間数	内訳	移動介護	移動
		396.5時間	0時間

### 1.4 その他

その他、地域福祉推進のために関係機関・団体との連絡調整及び協力・支援

(1) 伊東市遺族会が実施する戦没殉難者慰霊祭 (実施日 平成23年5月26日 (木) 会場 小室山公園) の式典運営への協力を行った。

(2) 伊東市介護保険事業者連絡会の事務局として、運営への協力を行った。